※令和４年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	(学)英語演習 A	1	２年	SKYWARD CLOUDS (桐原書店) HyperListening Pre-Advanced (桐原書店)

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年生では読む分量が増え、内容も難化する。本講座では最新の入試問題を用い、多様なテーマや論理構造をもつ英文を読むことで、読解力を伸ばす。メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境などの題材に触れることで、読むための知識や技術、思考力を身に着けてほしい。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・自然な速さで話される講義やスピーチ、会話を聞いて論旨を捉えた上で、概要、要点、詳細といった情報を目的に応じて捉えることができる。	・評論、エッセイなどを一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら全体の概要を把握することができる。 ・多読等の活動を通じて大量のインプットを取り入れつつ、まとまった文章を辞書に頼りすぎることなく、一定の速度で読み続け、話の展開、書き手の意図を把握することができる。	・特定の情報や自分の考えなどについて資料を活用しながら相手に説明したり、また相手の情報や考えに対して質問するなど、情報交換や意見交換したり、議論することができる。 ・様々なトピックに関して、他者の意見を聞き、自分の意見を正確に表明し、円滑に会話を進めることができる。	・興味・関心のあるトピックに関して具体的な理由を示しながら説得力をもって、賛成や反対の意見を述べることができる。 ・使える語句や表現を繋いで、自分にまつわる事柄について、話を広げながらある程度詳しく語ることができる。	・自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落からなる英文で、時間をかけた修正を経て書くことができる。 ・与えられたトピックに関して、少しの時間の準備で自分の意見を明確にしながらまとまりのある英文を書くことができる。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
後期	Unit 1~ 10	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: 多様な英語の素材（講義、ニュース、グラフ図表、ディスカッションなど）について、理解に必要な情報を聞き取っている。 c: 多様な英語の素材（講義、ニュース、グラフ図表、ディスカッションなど）について、理解に必要な情報を聞き取ろうとしている。	・定期考査 ・授業内活動＋観察
		読むこと	a: 多様なテーマにおける英語の語彙・文法の意味や働きを理解している。 b: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）についての文章の概要を捉えている。 c: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について、文章を読んで概要を捉えようとしている。	・定期考査 ・授業内活動+観察 ・授業内課題
		話すこと （発表）	a: 多様なテーマにおける英語の概要を理解している。 b: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について、基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	・グループワーク観察 ・授業内対話活動観察
		書くこと	a: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	・定期考査 ・授業内活動+観察 ・授業内課題
	中間考査			
	Unit 11~20	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: 多様な英語の素材（講義、ニュース、グラフ図表、ディスカッションなど）について、理解に必要な情報を聞き取っている。 c: 多様な英語の素材（講義、ニュース、グラフ図表、ディスカッションなど）について、理解に必要な情報を聞き取ろうとしている。	・定期考査 ・授業内活動＋観察
		読むこと	a: 多様なテーマにおける英語の語彙・文法の意味や働きを理解している。 b: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）についての文章の概要を捉えている。 c: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について、文章を読んで概要を捉えようとしている。	・定期考査 ・授業内活動+観察 ・授業内課題
		話すこと （発表）	a: 多様なテーマにおける英語の概要を理解している。 b: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について、基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	・グループワーク観察 ・授業内対話活動観察
		書くこと	a: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 多様なテーマ（メディア、社会文化、人類学、心理学、科学技術、教育、環境など）について簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	・定期考査 ・授業内活動+観察 ・授業内課題
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度